

# スポーツ

# 川越

発行 川越市体育協会



第2回 婦人スポーツの集い

## 「スポーツ都市」

副会長 戸口克怡

WHO（世界保健機構）によれば、身体的、社会的に良好な状態を健康としているが、スポーツは、体力を維持増進し、ストレスを解消し、人との融和をはかることから、まさに健康な生活を私達に与えてくれるものである。

近年、この健康体力づくりをねらいとしたスポーツ活動は、従来の学校体育全般にその任務を負わせていた時代から、地域スポーツ活動を核とした、生涯スポーツへの広がりを見せ、特に婦人や高令者層のスポーツ人口に著しい増加をみている。

こうしたスポーツ人口の急騰は当市を含めた各都市で、スポーツの施設不足を起している。健康が人間の財産であることを認識し、健康維持のために、スポーツ活動に取り組む市民に、活動の場を確保することがスポーツ関係者の課題であるといえよう。統計的にも中・高年齢層のスポーツ活動が若い世代の職場スポーツから、年令の上昇に比例して、居住地域中心型スポーツになる傾向を示しており、今後の高令化社会への対応にも通じるものであり、重要視されるべきである。

人生の幸福が、健康保持を大前提としていることは明らかであり、明るく豊かな都市づくりをめざす時、住民の健康づくりをその基盤として欲しいものである。その意味では、スポーツ施設への取り組みが都市づくりの第一と言っても過言ではあるまい。

体育協会は、市民の皆様の声を一身に受け、愛され親しまれるよき協力者であり、指導者であることをモットーとして歩み続けています。今後とも、市社会体育の発展のために、施設の充実を期すべく市当局にお願いする次第です。

# ウォークソン大会 催される!!

十一月三日(文化の日)第二回川越ウォークソン大会が、東京・神奈川・千葉・静岡・埼玉など総勢一七六一名が参加し、盛大に開催されました。

当日は、朝から青空が広がり絶好のスポーツ日和となり、最高八十才のお年寄りから三才の幼児まで「正しく・美しく・速く歩く」を合言葉に全員がそう快な汗を流し完歩しました。参加された多くの方から「昨年にくらべスムーズに運営されていて良かった。小さいお子さんからお年寄りまで参加できる大会でうれしく思います。等のご意見をいただきました。

そこで、以下第二回川越ウォークソン大会の概要について述べさせていただきます。

一、種目について

本年度は、昨年度の反省点を生

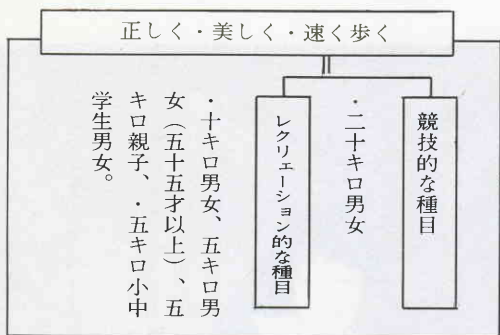
かし、競技的な種目とレク的な種目の二通りに分けました。  
〔種目決定までの過程〕

点、権威ある大会に育てるため省にも、規則をきちんと守ら反せたい。特に十位迄の入賞者の中に走っている人がいた。

年・高齢者人口が急増すると思昨うので、それに合った種目を選ぶ必要がある。等

実行委員会等で十分協議する。

〔本年度の種目〕



実際には、一般二十キロ男女の種目については競技を原則としているので、十位迄に賞状・賞品を、他の種目については順位に関係なくスタイル賞・特別賞を用意し、参加者全員に参加賞を、制限時間内完歩者に完歩章を用意いたしました。

二、競技的種目の入賞者とレク的種目のスタイル賞受賞者一覧

(一) 決定迄の過程

競技的な種目とレク的な種目のうちのスタイル賞の決定については、百名の審判員と十二名の主任審判員と七名の判定員により慎重に審議し決定いたしました。

実際には、次のようなステップをとり決定いたしました。

## 第三十六回市民体育祭総合開会式

川越市では毎年十月十日の体育の日に市民体育祭の総合開会式を行なっていますが、今年も市民体育館で、第三十六回市民体育祭総合開会式が、市長・教育長をはじめ多くの来賓の方々の御臨席を賜わり、体育協会加盟二十六団体が一堂に集まり、盛大に開催されました。

また、その席上で昭和五十八年度の体育功労者及び優秀選手の表彰が行なわれました。

体育功労者は体育・スポーツの振興に著しく功績のあったものに対して、また優秀選手は小・中学生については県大会の優勝者及び関東大会以上の大会に出場した



もの、高校・大学・一般については全国大会以上の大会に出場したものに對して贈られるものです。

今年度の体育功労者は次の五名の方が受賞されました。

小野沢 雅 (四十二才)

野 球 連 盟

松岡 公明 (五十六才)

軟式庭球連盟

村井 恒夫 (三十八才)

高等学校体育連盟

斉藤 治夫 (四十八才)

ソフトボール協会

矢沢 肇雄 (五十四才)

テニス協会

優秀選手賞は

小学生 五十名

中学生 四十四名

高校生 九十七名

一般 六十四名

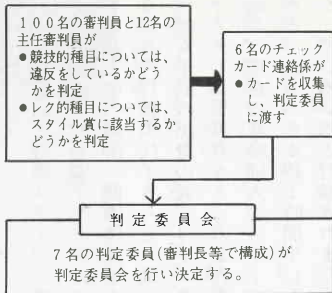
合計二百五十五名の方に贈られました。

受賞された方はもとより、スポーツ愛好者の皆様のこれからの御活躍を期待いたします。

# 第2回 川越 盛大に開

	男子	女子
1位	大森健一	緒方菊江
2位	今 普	永田昌子
3位	宮坂慶彦	小林百合子
4位	出村 厚	室井典子
5位	榎本潤一	溝口広美

(一) 一般二十キロ男女入賞者  
一覧(紙面の都合で五位迄)



(二) レクの種目のスタイル賞受賞者一覧

小学生の部	
男子	女子
小川和也	石松由江
八巻雅敏	島村恵美
小林 毅	加藤悦子
中学生の部	
男子	女子
高井 敦	中村季美子
小林秀記	当堂磨希子
佐々木徹	細田春美

※小学生の部で二名の該当者を出したO校のI先生は、「最近、姿勢の悪い子が目立つ。その原因の一つとして、背筋力の低下があると思われる。そこで本校では意図的に背筋力アップの運動を行い、正しい歩き方の指導を徹底している」とのことでした。

親子の部	
男子	女子
渡 辺 迪 子	望 月 清 子
鈴 木 忠 夫	倉 脇 幹 夫
55才以上の部	
男子	女子
小川清一郎	小俣きん
薮島照次	栗原美枝子
倉脇幹夫	行定経伊

※親子の部に家族で参加したM子さんは、「健康維持と子供のふれ合いの場として非常に意義深い大会である。一家で、このような機会がないので大変喜んでいる」とのことでした。

10kmの部	
男子	女子
鈴木照見	山口智寿子
小林 宏	安達友里恵
石川隆昭	蓮見孝子

立ち向かい毎日の生活に生かしたいとのことでした。



三、おわりに

年齢を問わず子供からお年寄りまで、たくさんの方に参加していただくことが大きなねらいだったこの大会は、そのねらい通りの大成功をおさめました。これも、偏に関係各位の皆様方の夜を日に徹してのご労苦とご指導の賜と深く感謝申し上げます。

このように誰でも気軽に参加できる催しの一つのきっかけとなって参加した人・応援した人達が体を動かすことの大切さを知ったことと思います。

今後は、この大会を通して、一人でも多くの方が、日常生活の中で歩くことを意識し実践していただければ幸いです。

## 運動で病気を防ぐ/壮年体力テスト結果より

昭和五十八年度の壮年体力テスト結果が示されました。  
毎年十月十日に行なわれている市民体力テスト会と各地域での壮年体力テスト会の資料をまとめたもので、これによると、ここ数年の傾向であった握力と急歩の低下現象をそのまま表す結果となりました。(男子)

しかし、全体的には全国値を上回る種目が多く、特に垂直とび、ジグザグドリブルは大変よく、瞬発力や巧み性にすぐれていると言えますでしょう。

急歩は、壮年層が高めていきたい心肺持久力の強さを測定する種目であるが、過去三年間について

他の種目と比べてみると、その低滞ぶりがわかります。

過去3年間で全国値を上回る種目数

種目	種目数
反復横とび	7/9種目
垂直とび	9/9全種目
握力	5/9種目
ジグザグドリブル	9/9全種目
急歩	5/9種目

壮年層で死亡率の高い心臓病や高血圧症の予防には、心肺機能を高めることが大切であると言われています。しかし、現代の状況は自動車やエレベーターの駆使によって運動の機会の減少が顕著であるので、自分の能力に適した軽い運動を継続的にやりたいものです。

### 昭和58年度 川越市壮年体力テスト結果一覧

急歩 1,500m

種目	年代	30才代	40才代	50才代
反復横跳	市	○ 47.08	○ 44.92	○ 42.89
	全国	43.11	39.99	36.56
垂直跳	市	○ 62.00	○ 51.86	○ 46.78
	全国	51.26	46.70	41.00
握力	市	○ 49.69	× 46.42	○ 45.33
	全国	49.03	46.49	42.94
ジグザグドリブル	市	○ 15.37	○ 17.02	○ 20.08
	全国	17.86	20.58	23.56
急歩	市	○ 11'15"	× 11'57"	○ 11'32"
	全国	11'23"	11'44"	12'09"

○印：全国値を上回る種目 ×印： 下回る種目

急歩 1,000m

種目	年代	30才代	40才代
反復横跳	市	○ 44.25	○ 42.60
	全国	38.53	35.07
垂直跳	市	○ 43.04	○ 38.40
	全国	35.00	30.72
握力	市	○ 31.29	○ 30.93
	全国	30.37	30.36
ジグザグドリブル	市	○ 16.87	○ 18.36
	全国	19.68	22.26
急歩	市	○ 8'16"	○ 8'35"
	全国	8'24"	8'42"

# 竹腰美代子のスポーツ対談 美里美寿々の

昨年の7月3日(日)、川越市民体育館において、第2回婦人スポーツの集いが、約650名の参加者を集めて盛大に開催されました。

今回は前回と形式を変えて、スポーツ対談と、参加者全員によるエアロビックダンスの2部構成で行なわれました。

「家庭婦人と健康スポーツ」のテーマのもとに行なわれたスポーツ対談では、講師に健康体操おなじみの竹腰美代子さんと、地元川越女子高校出身の元ニュースキャスター美里美寿々さんの2人を迎え、現在の家庭婦人のスポーツがどうあるべきか約1時間半にわたっていろいろと対談されました。



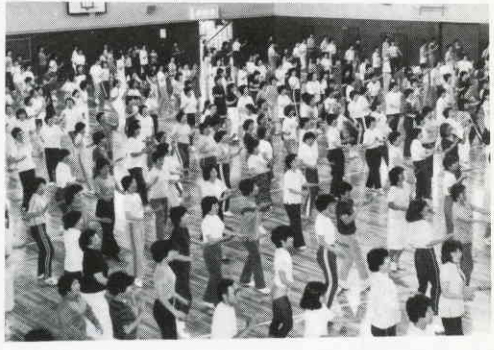
その中でも竹腰さんの「婦人は一家の縁の下の力もち、常に健康でなくてはいけません。もともと女性は男性より丈夫にできていますが、いつでも身体を動かすような心がけていたいです。

また、家庭内でもそれに対する理解と協力を得られなければいけません」の言葉に参加者全員大きくうなづいていました。

## 生活の中(スポーツ)を 第2回婦人スポーツの集い

以下参加者の声を聞いてみると  
A……二人の対談は華やかでとてもよかったです。エアロビックダンスも生まれて初めてでしたけどけっこう楽しいものですね。来年もぜひやって欲しい。

B……ダンスも初めのうちはよかったですけど最後の方は疲れました。でもあれを続ければお腹のゼイ肉も取れそうね。私やってみようかしら。



C……去年の池田さんの話も楽しく聞かせてもらいましたけど、今年の対談も良かったですね。まるでテレビで対談してるのを生で見ているみたい。ステキな雰囲気だったわ。それと何と云ってもあのエアロビックダンスすごかったですね。私も前にすこしだけジャズダンスをした事がありますけどその時は少人数でしたから盛り上りがなかったの。来年もぜひやってほしいです。

## エアロビックダンス

その後、岩村信雄さんの指導のもとに参加者全員がエアロビックダンスで汗を流しました。

この日のダンスは比較的やさしくプログラムされたものだそうです。初めのうちは全員が軽快なリズムに乗って、体もスムーズに動いていました。最後のほうでは休み休みの人もチラホラ見えましました。

何はともあれ一家の健康を管理する主婦の皆さんには、楽しみながらのスポーツというものを十分に堪能されたのではないかと思います。

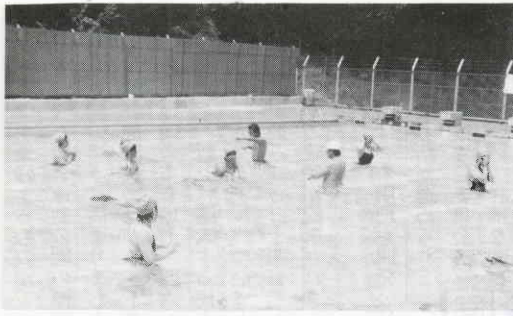
この「集い」を契機に、定期的に生活の中にスポーツを取り入れ

てみてはどうですか。また、スポーツ対談とエアロビックダンスの合間に、各種目の婦人スポーツ団体が紹介されました。左記に種目と連絡先を掲載しましたので、どんなことでも気軽にご連絡下さい。



種目	連絡先	電話
卓球	印藤 勇夫	
ママさんテニス(軟式)	布施 藤吉	
婦人バレー	柴野トシ子	
ママさんバレー	箕輪 絹子	
ママさんバスケット	小久保 進	
婦人サッカー	栗原 忠男	
弓道	鈴木 道子	
フォークダンス	岡野 安夫	
民踊	松橋貴久美	
婦人ソフト	大沢 一男	
ママさんテニス(硬式)	矢沢 肇雄	
なぎなた	仲 利子	

# スポーツ 教室



昭和58年度スポーツ教室が別表の通り各会場で婦人・一般8教室少年少女8教室行なわれました。

この教室は、市民の皆さんが、スポーツを楽しみ、心身の健全な発達と明るく豊かな生活を営むため、又、地域住民のスポーツ欲求を満すためにその機会をつくり、必要な知識と技能を与え、スポーツグループの育成等、生涯体育の育成に役立てたいと考え計画を立てております。



スポーツ教室に参加して

《参加者の声》

○家族の皆から運動音痴といわれていた私が泳げるようになったなんて、自信ができました。本当にありがとうございました。

(48才主婦)

○私にも出来る教室(フォークダンス)があったんですね。最初は抵抗があったんですが友人に誘われて、今じゃずい分若返った気がしますよ。(61才男子)

○私はスケートは寒くてしかたないと思っていました。一生けんめいやってたらあんなかくなりました。自分で曲がれるようになって、うれしいです。また来年もやりたいです。(小5女子)

## ○ 婦人・一般

No.	教室名	回数	対象	参加者数	会場	内容
1	婦人水泳	7回	市内在住在勤の婦人	47	市営プール	基礎泳力と水中での自己保全能力を養う
2	婦人軟式テニス	10回	〃	48	市営コート	初歩的技術の習得と健康維持増進を図る
3	婦人硬式テニス	10回	〃	47	芳野台コート	〃
4	婦人卓球	10回	〃	38	市民体育館他	〃
5	バドミントン	10回	市内在住在勤の一般男女	46	川商体育館	〃
6	フォークダンス	10回	〃	50	一小体育館	〃
7	健康体操	6回	市内在住在勤の婦人	50	川小体育館	基礎体操からリズム体操までの習得
8	スケート	3回	市内在住在勤の一般男女	200	スケートセンター	少人数編成による基礎スケートの習得

## ○ 少年少女

9	水泳 (A)	7回	3年生以上の小学生	50	霞ヶ関北小プール	基礎泳力と水中での自己保全能力を養う
10	水泳 (B)	7回	〃	38	仙波小プール	〃
11	水泳 (C)	7回	〃	43	高階南小プール	〃
12	ミニバス	10回	5年生以上の小学生	48	川越小他	基礎技術の習得と基礎的ゲームの実施
13	サッカー	10回	3年以上小学生男子	25	古谷小他	〃
14	少林寺	10回	小・中学生男女	32	山田小学校	礼法を重点に正しい少林寺を学ぶ
15	スケート	3回	〃	200	スケートセンター	少人数編成による基礎スケートの習得
16	スキー	3回	4年以上小・中学生	120	草津スキー場	少人数編成による基礎スキーの習得

スポーツを愛好するものが、待望久しかった総合運動公園の概要案が、下図のように固まりました。古谷、芳野地区にまたがる、下老袋、鴨田地内の市有地七・四六ヘクタールと、新たに購入する民有地六・八三ヘクタールについても買収交渉が進み、合計十四・二九ヘクタールの確保が約束されました。

現在、市はこの用地を開発公社から引き取る話が進められており、今後建設委員会を設け施設について詳細な審議をお願いしていくとのことであります。

この概要案によりまずと、総合運動公園としての機能を十分に発揮し得るものとなっております。即ち、県西部地域では始めての四百米公認トラックにメインスタンドを設け、陸上競技全

種目の競技が行なえる施設が、また、体育館は現在の市民体育館を上回るもので、室内競技や、レクリエーションの殿堂となり得る施設が配され、体育館に隣接しては十二面のコートを持つ庭球場と最近のテニスブームにこたえる施設が計画されており、このほか、広いスペースをとつ

## 総合運動公園 について

た自由広場は、多目的に利用できるもので市民の憩いの場所となることでしょう。

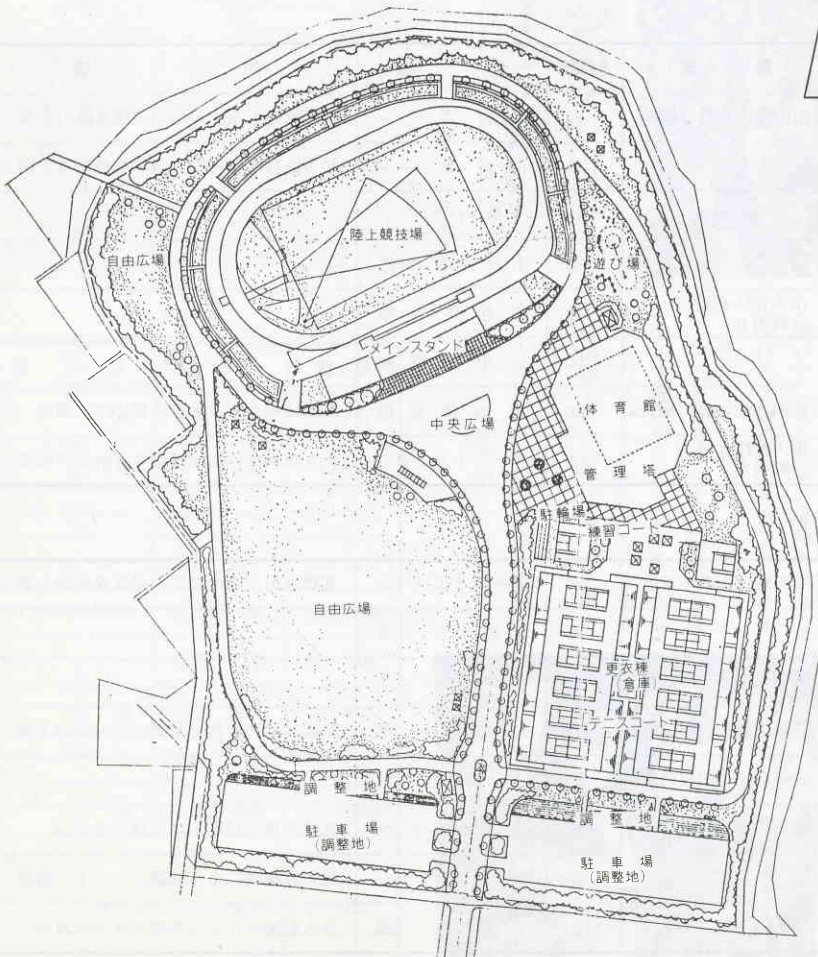
総合運動公園の建設にあたっては、広い用地を要するため、市街地から離れているという地理的な面はありますが、利用者のための駐車場、駐輪場等は広く確保する等の配慮がされております。今後建設委員会で充分協議が行なわれ、われわれ市民のための真の一大スポーツ施設となり得ることを確信しております。

なお、完成後は市民の利用に万全の措置がとられることを要望するとともに、一日も早い完成を心から望みたいと思っております。

また、さきの第四号でお知らせした市内小ヶ谷、池辺地区に建設される埼玉県第三水上公園の用地四九ヘクタールについては、五十九年度から買収を予定しており、公園に通ずる取り付け道路は、市が実施することになっております。建設に要する事業資金中、地元負担は約三分の一で現在着工への準備が進められております。

海なし県の埼玉県に海の代りの大型レジャープールが上尾のさい

たま水上公園、岩槻、越ヶ谷にできた、しらこぼと水上公園につぐ第三の水上公園が昭和六十四年度完成を目指してピッチをあげて行くことと思っております。



**総合運動公園  
完成予想図**

### サッカー協会

当協会は、戦後の昭和二十年、荒廃した世にスポーツを」と有志が集まり「川越蹴球団」を設立、その後川越市蹴球連盟(昭和二十五年)川越市蹴球協会(昭和四十一年)そして昭和四十六年「川越市サッカー協会」と名称変更し、現在に至っています。構成は社会人二十五チームと昭和四十八年に発足した少年団十七チームです。社会人事業としては埼玉リーグの下部である川越ブロックリーグを中心に市民体育祭、新春サッカー大会のトーナメント戦、さらには技術向上のため審判講習会、技術講習会を実施しています。少年は協会の下部組織として「川越市サッカー少年団」を設立、独立運営により、各種大会を開催しています。さて、川越市とオッフエンバツ



八市の姉妹都市提携により、さらに協会の発展につながる要素ができてきました。西ドイツのサッカーは世界のトップクラスでありプロ十八チームで構成されているブンデスリーガー(リーグ戦の名称)は世界最高のリーグと言われています。そのユースチーム(十六、十八才)が今年来川することが伝えられており協会ではその対応を協議しています。先進国チームであるだけに充分な期待にこたえるには相当の努力が必要であると思われまふ。

この交流を機にレベルアップのため小学・中学・高校、さらに一般への一貫した体系の確立を考えています。

### 剣道連盟

遠く明治の時代、当地方剣道愛好家の集りであった振武会によって創設された川越明信館、及び師範として長年指導に当り、多くの門弟を育てられた間中先生が川越市剣道連盟の生みの親といえよう。戦前は勿論、終戦後の混乱期も僅か半年位の期間を除いて、竹刀の音が絶えたことのなかった明信館、同好の志が集まり、そこを拠点として、社会人に、又、中学校、高等学校にと、徐々に剣道は復興

## 団体 だより



され、それが川越市剣道連盟発足の母体となった。我が剣道連盟が正式にその結成を見たのは、昭和30年7月17日で、当時の設立総会において、会長に水村善太郎、副会長 栗城至誠、理事長 北村博学、常任理事 中島直二、船橋長夫、その他役員が選任され、事務所を明信館内に置いて発足した。その後相次いで各地に剣友会、道場の開設が見られ、小・中学生をはじめ一般社会人の間にも急速に剣道人口が増加した。主な行事と

して、川越市武道大会は第16回を迎え、青少年の健全育成に大いに貢献しており、友好都市棚倉町との親善剣道大会も12回となった。市民体育祭に於ては、年々出場者数が増えて、小学生の部は日時を別にして開催する程になっており、又、剣道段位審査会では、受審者数が多くなり、九百名を超えている。役員一同は大世帯になってきた連盟の円滑な運営と今後の発展のために献身的な努力を続けている。

### ライフル射撃協会

ライフル射撃とは  
現在、川越ライフル射撃協会では、今年度女性3名学生2名を加え59名の会員がおります。

我が国では、銃器に対する認識がまだまだ普及していない為か、「銃は危ないから」と敬遠している人が多数おります。確かに使い方によっては凶器にもなりますが、果物ナイフでも使い方がいかなんではとても危険です。一部の心ない人達の行動から、誤解をまねいているのは大変残念な事です。正しい銃の操法とマナーを守っていればこれほど安全なスポーツは他にありません。又10Mで1mm、50Mで12mmの10点圏をねらうライフル射

撃は、精神の集中と技の練磨が要求される高度のスポーツです。「射撃は、金のかかるスポーツだ」と思い込んでいる人がいるかもしれませんが、これは大きな誤りです。莫大なお金がかかる競技ではなく、中学、高校、大学生の間で普及しています。

射撃競技には、エアライフル、スモールポアライフル、ラージポアライフル、ピストルと有り川越ライフル協会でも、4名のピストル射手が、活躍しております。

現在、銃の撃てる場所としては、朝霞射撃場一ヶ所で、練習する場が無いのが、非常に残念です。

老若男女を問わず、誰にでも楽しめるスポーツとして、ライフル射撃を始めてみてはいかがでしょうか、銃を所持出来るということは、社会的かつ人間的に信頼されている証しです。



十二月三・四日と恒例の川越市体育協会の伊豆熱海方面への視察研修会が行なわれました。十二月には珍らしく好天に恵まれ暖かい二日間でした。

初日、快適なバスの旅の途中では、東名高速道路から美しい雄大な富士山の姿を見ることが出来ました。伊豆サイクルスポーツセンターへ着くと、バスの中でトレーニングウェアに着がえ、関口会長を先頭に勇んで入場しました。記念撮影をすませ、全員で2kmコースに挑戦しました。

長い階段を下りて行く途中の右手には、すり鉢状の自転車競技用施設も見えました。ヘルメットをかぶり、早速スタート。上り坂あり下り坂ありカーブありの変化に豊んだコースでした。一周終った後、みな体力が余っているのか、二度目に挑戦する人、他の変形自転車に乗る人など楽しい時間を過ごすことが出来ました。

夕方、少し早目に宿に着いたので、海の方へ散歩に行ったり、ゆつくりとお風呂に入ったりました。夜になっての研修は、おいしい海の幸を食べながら和気あいいと過しました。

### 視察研修会



二日目、小高い山の上にあるMOA美術館の見学に行きました。長い長い本場に長いエスカレーターに乗って館内に入ると、高価な壺や掛軸など、たくさんのお土産が展示され、とても広くゆつたりとしていました。また、山の上にあるので、そこから見える太平洋の景色は、とてもすばらしいものでした。

帰りは、バスに備え付けのテレビで、マラソンの中継を見ながら川越へ向いました。瀬古選手のレストランパートの場面では、バスを止めて応援し、ゴールの瞬間には、バスの中いっばいに拍手が響きました。あたりが夕闇につつまれる頃、無事に川越に着きました。とても楽しい有意義な視察研修でした。

### 賀詞交換会

昭和五十九年一月十四日(土)、川越福祉センターにおいて、恒例になりました川越市体育協会の主催により、ます体育関係者賀詞交換会が盛大に開催されました。

今回は剣道連盟とレクリエーション協会が当番団体となり、市長・教育長・市議会議長・スポーツ振興審議会議長をはじめ、体育協会二十四団体の参加を得て、総勢二百五十名以上にのぼる盛大なものとなりました。

近年スポーツ人口が急増し、とくに婦人の活動が益々まわっています。

川越市においても婦人スポーツをはじめウォークソン・市民体育祭などにその傾向が顕著に見られます。

### 祝 埼玉県体育功労賞受賞

岡野理事長

昭和五十八年度埼玉県体育功労賞を、岡野安夫川越市体育協理(五十才)が授賞されることになりました。

これは、体育・スポーツの振興に著しく功績のあったもの、多年体育・スポーツの指導に精励し、著しく功績があり、他の模範であります。

授与式は三月十七日(土)、浦和市市民会館ホールで行われる予定です。おめでとうございます。



しかし、スポーツ人口の急増に伴う施設不足や指導者不足等、多くの課題をかかえている現在、体育協会はさらに充実した組織づくりを進めて行かなければならぬと、新年に向けて新たな決意がなされました。

### 「スポーツ一家」

数年前になるが、ある駅伝大会で、父親を中心にその子供達(中・高・大学生)で編成した家族チームが強豪ぞろいの中で健闘した。結果は最下位だったが、アンカーを努めた父親は、疲れながらもしつかりした足どりで観衆の拍手にも迎えられ見事ゴールイン。スポーツを通して、心身を磨きながらお互いに高め合う姿や、駅伝大会への参加を決めたこの家族の心意気と、すばらしいチームワークでのがんばりに感激しました。

「見る」ことから「やる」スポーツへの徐々にではあるが私達の意識が変容している中で、施設などの「場」の充実も急務だが、日常生活の中で、家族一緒に運動する機会をつくり出すことも、健康づくりのために大切だと思います。今回は編集にあたり、体協の主な行事を核に、サッカー・剣道・ライフルの三競技団体の活躍のようすも紹介しました。

末筆ながら、投稿された皆様方に心よりお礼申し上げます。今後とも皆様方の御指導をいただき、よりよいものにしていきたいと思っております。